

特別展

国宝 大神社展

Grand Exhibition of Sacred Treasures from Shinto Shrines

平成26年1月15日[水]—3月9日[日]

神々の気配を伝える至宝の数々。

日本人は古来、自然の中に人知を超えたものを感じ、畏れ敬ってきました。やがて神々を祀る社が建てられ、調度品である神宝や具現的な姿としての神像が造られてきました。本展は、伊勢神宮の第62回式年遷宮を機に、神社本庁をはじめ、日本全国の神社の全面協力を得て、神社の宝物や日本の神々に関する文化財を総合的にご紹介します。まさに空前絶後の神道美術展をお見逃しなく。

九州
初公開
7割超!!

圧巻! 神道美術の最高峰を 一度に拝観できるチャンスです。

出品165作品のうち7割 以上が国宝、重要文化財!

Q.日本の神々はどのような姿をしているのですか?

A.「国宝 大神社展」会場でご覧いただけます。

神の姿は本来目に見ることができないのですが、奈良時代の頃から、仏教の影響を受けて人の形に表現するようになり、神像が造られるようになりました。神像は当時の宮廷貴族の姿であらわされ、表情も個性的に造られました。

猛神と崇敬された
男神像

松尾大社の祭神である天山咋神の像と考えられています。現存する神像のうち最初期のものです。

重要文化財 男神坐像
平安時代 9世紀
京都・松尾大社所蔵
[展示期間/全期間]



POINT

眼光の鋭い厳しい表情には威厳があふれています。

貴婦人を思わせる
等身大の美しい女神像

イザナミノミコトの異名同神といわれる熊野夫須美大神。神像彫刻の中でも最高峰のひとつといわれています。

国宝 熊野夫須美大神坐像
平安時代 9世紀
和歌山・熊野速玉大社所蔵
[展示期間/全期間]



POINT

女性らしさを表現した美しい髪型。背面は地に付くほどのロングヘアです。

Q.「神宝」とは何ですか?

A.祭神のために特別に製作され、社殿に奉納されたさまざまな宝物です。

社殿の祭神にも必要であろうと、装束や身のまわりの調度、武具などの神宝が殿内に納められました。こうした神宝は、本来は人目に触れないものですが、一定の年月を過ぎその役目を終えると殿内から取り下げられました。このような「古神宝」は、どれも当時最高の工芸技術を駆使して製作された優美華麗なものです。

神が召される女房装束

室町幕府の八代将軍足利義政が奉納したと伝えられている女房装束。神宝の伝統的な形式を受け継いだ装束としては大変貴重なものです。

重要文化財 表着
室町時代 15世紀 愛知・熱田神宮所蔵
[展示期間/1月15日(水)~2月9日(日)]

POINT

桐竹鳳凰の模様は本来は天皇の御料に用いられるもの。



宮廷貴族の豪華な文化を垣間見る

細かな装飾を施した贅沢な蒔絵手箱に毛抜きや鉢、耳かきなどを納めた神のための化粧箱。当時の華麗な化粧文化を物語っています。



重要文化財 唐花唐草蒔絵手箱
南北朝時代 明徳元年(1390)
和歌山・熊野速玉大社所蔵 [展示期間2月11日(火)~3月9日(日)]

POINT

梨子地に高蒔絵と螺鈿であらわした唐花唐草文がとても優雅です。

鏡の中にはさまざまな禽獣が

神道では鏡そのものを神体とみる考え方が古くからあります。この海獣葡萄鏡は白銅鑄造の大型のもの。



POINT

よく見ると獅子・馬・鹿・麒麟・鳳凰などの動物文様が表わされています。

重要文化財 海獣葡萄鏡
千葉・香取神宮所蔵
唐または奈良時代 8世紀
[展示期間/全期間]

ロシアが見たアイヌ文化

ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館コレクションより

平成25年 平成26年
12月10日[火]~2月16日[日]
文化交流展示室 関連第9・10・11室

ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館に、18世紀から20世紀初頭にかけて収集された、アイヌの人たちの生活文化を知る資料が多数収蔵されています。今回は、同館の貴重なコレクションの中から約140件を紹介し、すべて九州初公開。この機会にアイヌの世界に触れてみませんか。

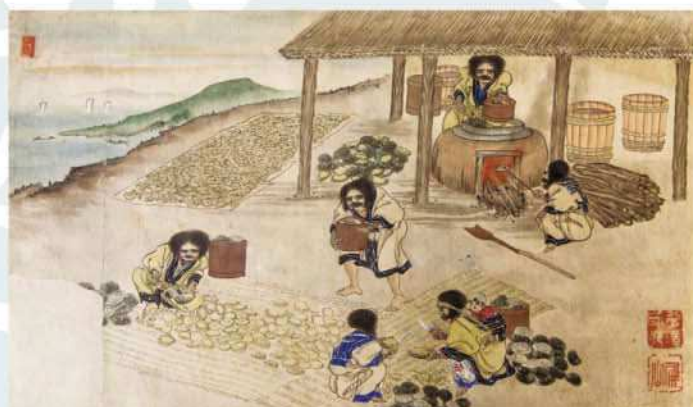


ルウンベ(木綿製の着物)／北海道

アイヌを知り、アイヌと出会う

アイヌ文化を知り尽くした平沢屏山の世界とは

幕末の絵師平沢屏山(1822~76年)は、岩手の生まれで幕末に北海道の函館に移住。のちに十勝で暮らし、アイヌの暮らしを取材しながら、とくにアイヌの人たちの生活文化を絵にすることを得意としていました。そのアイヌ絵は当時の函館の外国人の間で大評判となりました。



干しアワビ造り図／北海道



雪中酒宴図／北海道

コラム 「神への祈り」イヨマンテの儀式

古くから熊はアイヌの人たちにとってカムイ(神)として扱われてきました。この道具は熊の魂をあの世に送り出すイヨマンテの儀式の際に使われました。



北海道立北方民族博物館蔵



チブヌツ(熊の耳当て・儀礼用)／サハリン



ヘベライ／チロシ
(イヨマンテで熊を射る儀礼の矢)／北海道

イソキラウ(熊の装飾品・儀礼用)／サハリン

アイヌの伝統的な手業の数々に注目

今回紹介する資料は19世紀を中心に北海道・千島列島・サハリンで収集されたものです。19世紀のアイヌの伝統社会において男性と女性の分業ははっきりしていました。女性は食料の採集や処理、衣類やござ、袋などの製作を、男性は狩猟、漁労、そして木製品の製作などを担っていました。展示資料は生活用具や祭具など素朴なものです、その中には祈りやちょっとしたおしゃれ心など、さまざまな思いが込められています。

きもの

●カヤ(魚皮製の儀式用着物)／サハリン
サケ皮の女性用着物。一着に30~50枚の鮭の皮が使われています。



装身具



●カーニクフ「マハネクフクフ」(飾り帯)／サハリン

女性が真鍮製の輪が下がった帯を締めるのは樺太アイヌ独自のもの。

生活道具

●デンキ(籠)／千島列島

デンキはハマニク(イネ科の植物)の茎で作られた籠。千島アイヌは、この茎を束ねて芯とし、その上にコイル状に巻き上げて作りました。



●イタ(盆)／北海道

食器は煮炊きに使う鉄鍋以外はほとんど手作りの木製品でした。

遊具

●ウコニロシキ(ゲーム)／サハリン

2人で対戦します。縦、横に棒を動かし、先に相手側に一直線に3本を並べたほうが勝ちです。



●イクバスイ／イクニツ(神に祈りを捧げる籠)／北海道

木のへらの先端に酒をつけて折ると、酒や供物が何倍にもなって、神に届けられるといわれています。

祈り



装飾

●タマサイ(儀式用首飾り)／北海道

儀式のとき、女性は鉢巻をしめ、首からタマサイ(ガラス玉飾り)を身につけていました。ガラス玉は中国との交易で手に入れました。



刀

●サヤ／ケブシベ(小刀鞘)／千島列島

小刀は万能道具です。この刀だけで獲物の解体、調理、儀礼用具、盆や鞘なども加工します。



©Peter the Great Museum of Anthropology and Ethnography(Kunstkamera) RAS, St.Petersburg, 2013

関連イベント

◆講演会
アイヌコレクション
-はるかなる時空の民族文化-

■日 時:平成26年1月18日(土)
13時00分~14時30分
■会 場:九州国立博物館 1階 研修室
■講 師:荻原真子氏(千葉大学名誉教授、
ロシアアイヌ資料調査団団長)
■定 員:70名(申込不要、当日受付)(先着順、無料)

ミュージアムトーク

学芸員による展示解説を行います。

■日 時:①平成26年1月16日(木)
15時00分~15時30分
②平成26年2月4日(火)
15時00分~15時30分
■会 場:文化交流展示室 関連第11室
■聴講料:無料(ただし文化交展の
観覧料は必要です)

アイヌミュージアムフェアin九博

国指定重要無形民族文化財であるアイヌ古式舞踊の他、アイヌエカシのお話、アイヌ語クイズ、ムックリ演奏など、イベントが盛りだくさんです。

■日 時:平成26年1月12日(日)
①13:00~14:00②15:00~16:00
■会 場:九州国立博物館 1階 ミュージアムホール
当日受付(先着順):無料
■主催&共催:アイヌ文化遺産活用地域活性化推進協議会
(一般財団法人アイヌ民族博物館)
TEL 0144-82-3914(8:45~17:00)

■01 次回の特別展

藤原道長「御堂関白記」ユネスコ世界記憶遺産登録記念

華麗なる宮廷文化 **近衛家の国宝** 京都・陽明文庫展[会期] 平成26年**4月15日(火)～6月8日(日)**ユネスコ世界記憶遺産に登録された、
藤原道長の自筆日記「御堂関白記」を公開!

近衛家は、摂関政治の栄華を謳歌した藤原道長を頂点に、五摂家(近衛、九条、二条、一条、鷹司家)の筆頭格として江戸時代末期に至るまで宮廷貴族の中心にありました。そのため書跡、典籍、美術工芸の名品をはじめ、歴代天皇の宸筆など貴重な品々が数多く所蔵されています。国宝8件、重要文化財12件、重要美術品6件を含む名宝の数々と、華やかな宮廷文化をご堪能ください。



国宝 御堂関白記(部分) 平安時代 寛弘6年 陽明文庫所蔵

■02 トピック展示 発掘された日本列島2013

[会期] 平成26年**1月1日(水・祝)～2月16日(日)**

[会場] 文化交流展示室 関連第1・3室

近年の発掘調査の成果、約190点を一堂に

毎年、日本各地では8000件近い、発掘調査が行われています。その成果として特に注目された出土品をご紹介します。近年、注目を集めた遺跡から約190点を公開。あわせて宮内庁との共催による特集展示「陵墓の埴輪」で陵墓から出土した埴輪を展示。また、現在、岩手、宮城、福島で行われている復興事業に伴う発掘調査の成果「東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護」を特集します。さらに地域展として「神話のふるさと 日向の考古学」を開催し、西都原古墳群などの出土品を紹介します。

人物形埴輪(女子頭部)
仁徳天皇陵古墳出土(大阪府堺市)
古墳時代中期ミミズク土偶
上境旭台貝塚出土(茨城県・つくば市)
縄文時代・約3500年前

■03 トピック展示 館蔵近世絵画名品展

[会期] 前期/平成26年**2月25日(火)～4月6日(日)**後期/平成26年**4月8日(火)～5月18日(日)**

[会場] 文化交流展示室 関連第11室

九博の近世絵画を厳選

当館が所蔵する絵画より、17世紀から19世紀にかけて描かれた近世絵画を厳選してご紹介します。前期では「屏風絵の世界」、後期は「外国との文化交流文化」をテーマに、18件の作品を展示します。会場でじっくり鑑賞し、多彩な絵師たちによる名品の数々を心ゆくまでお楽しみください。

ひゃくかざり 百花図屏風
やまもとそうせん 山本宗川筆 江戸時代・18世紀

■04 新春特別公開 天神さまの宝もの

[会期] 平成26年**1月1日(水・祝)～1月26日(日)**

[会場] 文化交流展示室 中央エリア

新春、太宰府天満宮が所蔵する「天神さまの宝もの」を特別公開します。中国・唐時代に編纂された百科事典「翰苑」写本や天神縁起絵巻など3件の貴重な名品を、この機会にぜひご覧ください。

国宝 翰苑 卷第三十
平安時代 10世紀 太宰府天満宮所蔵

■05 お知らせ

メルマガ会員登録中

九博の最新情報、展覧会のみどころなど月2回配信します。まずは九博ホームページより会員登録を。

登録無料 メルマガ登録URL <https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/>
※PCのみ、携帯のメールアドレスは登録できません。

アジアージュ定期購読のお知らせ

年4回発行のAsiage(アジアージュ)の定期購読ができます。詳しくは、下記までお問い合わせください。

九州国立博物館広報課
申し込み・お問い合わせ 092-929-3272(平日9:00～17:00)

■06 ミュージアムショップ

おすすめの
“あったか”&
“干支”グッズ

てぬぐい
幅30cm×長さ90cm・
840円(税込)

馬柄は8種類。飾って
部屋のインテリアにも。
※限定品のためなくなり次第
終了



**あったか埴輪
ぬいぐるみ(大)**
4,725円(税込)

高さ約55cmのビッグ
サイズは、抱きこちも
抜群のもふもふ感。



しょうが湯
300ml・525円(税込)

『国宝 大神社展』にかけて
“ジンジャー(しょうが)”
商品を揃えています。
体もぽっかぽか。



干支 馬型埴輪
525円(税込)

高さ約1.5センチ
の小さな馬埴輪が
ちょこんと入ってい
る、かわいい小瓶。



午土鈴
525円(税込)

土のぬくもりを
感じる博多形。
干支の土鈴は魔除
けにもなる縁起物。



■08 レストラン グリーンハウス

「国宝 大神社展」限定
特製 松花堂弁当

伊勢神宮式年遷宮に際する展示にちなみ、三重県の名物料理や特産物、縁起物を彩りよく詰め込んだ松花堂弁当です。
※食材の入荷状況により一部変更する場合がございます。

- 営業時間/11:00～16:00
※特別展中17:00まで。お食事は15:30でラストオーダー。
- メニュー期間/1月15日(水)～3月9日(日)

低温でじっくりと燻
煙する三重の名物料
理「真鯛の冷燻」。
スモークの深い香り
が楽しめる一品。

ミュージアム松花堂弁当
“御神宝膳” 2,300円(税込)

■07 ボランティアガイド

なんと!九博に見事な茶室が。
「茶室見学ツアー」

吉兆庵



室町時代の草庵風の造り

このツアーでは、博物館敷地内の自然を見ながら館外周を1周し、茶室や茶庭を見学します。吉兆庵は、炭鉱王・麻生太吉が1927年に建てたものを移築、復元したものの。宝満亭は茶道等を体験する場として貸出をしています(要予約・有料)。

宝満亭



毎月茶道体験を実施中(詳細はHPをご覧ください)



一度に25人まで座れる広さがあり、茶会を開くこともできます



茶室独自の出入口「にじり口」も備えています

◆茶室見学ツアー(無料)

[実施日時] 日曜日 14:00～(約40分)

[受付] 当日12:00～14:00に

博物館1階ボランティアカウンターへ

[受付人数] 先着15人程度

※受付にて「茶室見学ツアー」とお伝えください。

茶室でのイベント開催時や雨天では実施しません。

ツアー実施の有無はお問い合わせください。

ボランティアガイド
横井照也さん

申し込み・お問い合わせ

九州国立博物館 交流課
092-929-3602(9:00～17:00)

information

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。情報は定期的に更新していますので、来館当日の状況をご確認ください。右記QRコードで携帯からもチェック可能です。

携帯電話用ページはこちらから▶



Access

- 車 太宰府ICまたは筑紫野ICから高速交差点経由で約20分
- 西鉄電車 西鉄福岡(天神)駅から天神大牟田線(特急約13分/急行約17分)で西鉄二日市駅乗り換え、太宰府線(約5分)で太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要
- JR JR博多駅から鹿児島本線でJR二日市駅(快速約15分)、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分又はバス約5分)、西鉄二日市駅から太宰府線利用。

- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日 ※1月13日(月・祝)は開館、12月24日(火)～31日(火)、1月14日(火)は休館
- 文化交流展観覧料(特別展は別料金) 一般/420円(210円) 大学生/130円(70円)
- 特別展「国宝 大神社展」観覧料 一般/1,500円(1,300円) 高校生・大学生/1,000円(800円) 小学生・中学生/600円(400円)

※()内は20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。

※高校生及び18歳未満、70歳以上の方は、文化交流展示室入口にて年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンセル・返金についてはお問い合わせください。※特別展「国宝 大神社展」の開催期間は1月15日(水)～3月9日(日)です



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ご案内 NTTハローダイヤル050-5542-8600
※オペレーターが対応します。通話料が発生します。
<http://www.kyuhaku.jp>